

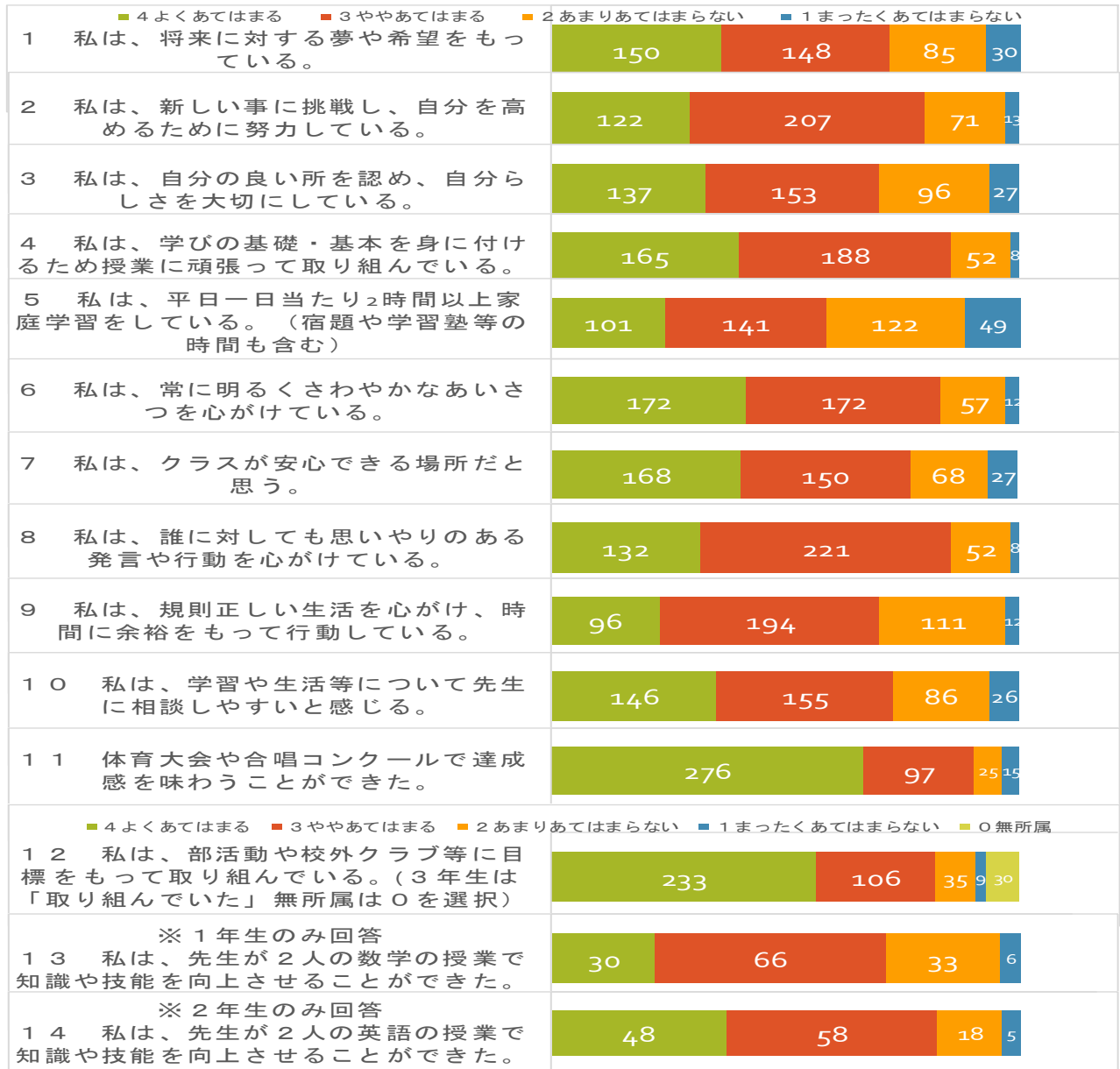
R4 雄踏中学校 学校評価報告書(別紙)

学校教育目標

豊かな心を持ち未来を創造する生徒

《生徒アンケートより》

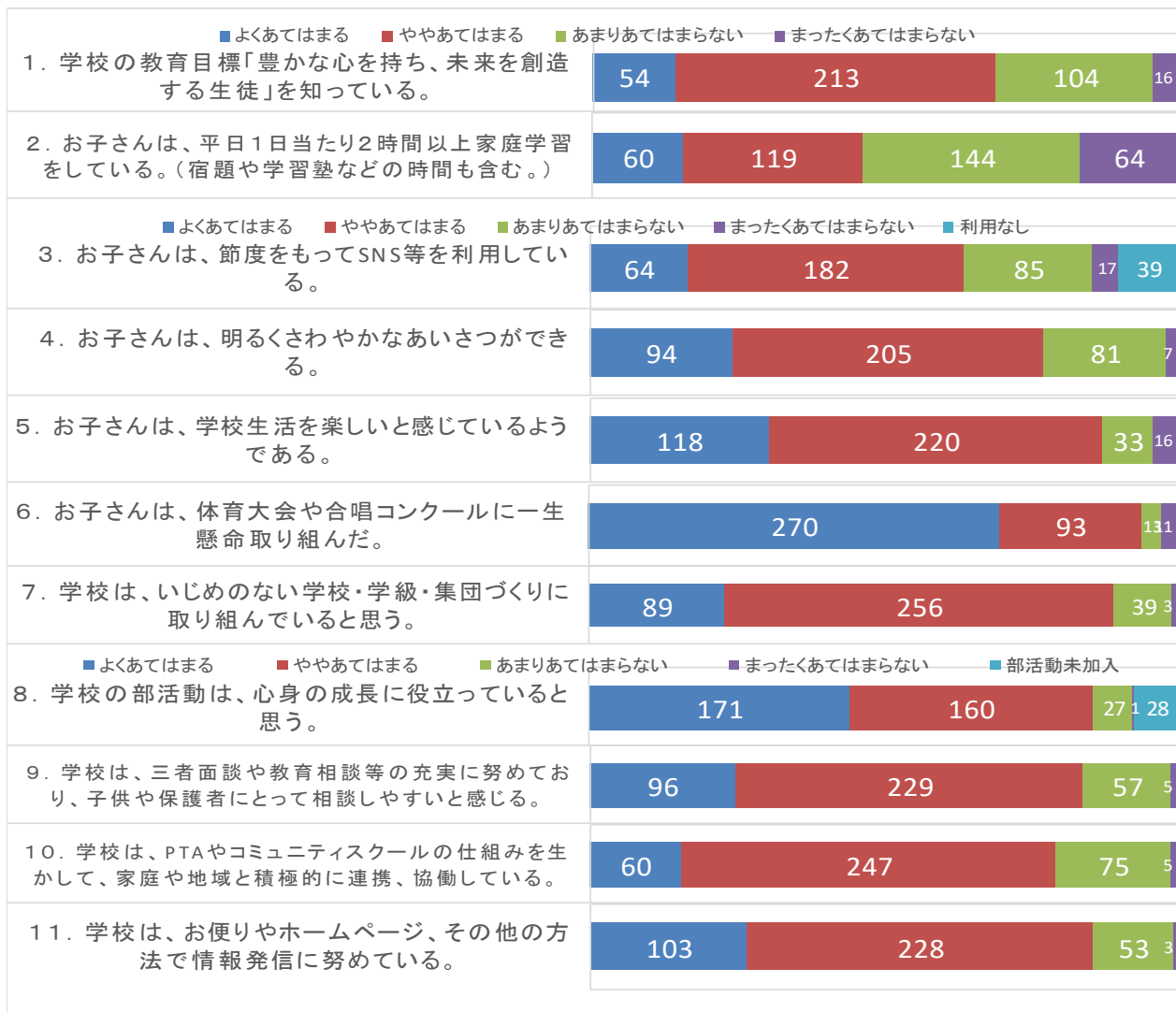
○：成果 ●：課題



- 授業や部活動に頑張っており取り組んでいる生徒が多い。
- 明るくさわやかな挨拶ができる生徒が多い。(来客や地域の方からも褒められる)
- 思いやりのある発言や行動を心掛けている生徒が多い。
- 体育大会や合唱コンクールなどの行事で9割の生徒が達成感を味わっている。
- 将来に対する夢や希望を持っている生徒や自分のよいところを認め、自分らしさを大切にしている生徒(浜松市の目指す子供)がどちらも7割ほどで多いとは言えない。
- 4割を超える生徒が家庭学習を2時間以上せず、3割の生徒が規則正しい生活ができていない。
- クラスが安心できる場所だと思う生徒が多いとは言えない。(77%)
- 3割弱の生徒が、学習や生活等について先生に相談しづらいと感じている。
- 1年生数学のTTの授業において、その効果を実感できている生徒が7割しかいない。

《保護者アンケートより》

○：成果 ●：課題



○9割近くの保護者が、「学校はいじめのない集団づくりに取り組んでいる」と一定の評価をしてきており、子供が学校生活を楽しんでいると思っている。

○94%が体育大会や合唱コンクールなどの行事に一生懸命取り組んだと感じている。

○部活加入者の保護者の9割以上が、心身の成長に部活動が役立っていると考えている。

●「豊かな心を持ち未来を創造する生徒」という学校教育目標が十分認知されていない。

●「子供が家庭学習を2時間以上している」と答えた保護者が半数に満たない。(46%)

●子供のSNS等の節度ある利用に100人ほどが不安を感じている。

●62人(16%)の保護者が、学校に対して少なからず相談しづらいと思っている。

●PTAやコミスクの仕組みを生かした連携、協働が不十分と感じる保護者が2割いる。

《改善策》

・学習塾を含めても1日2時間以上家庭学習をしている生徒が少ない実態がわかったので、2年の秋から取り組む問題集をもう少し早い段階から始められるようにする。

・雄踏中の学校教育目標は、浜松市の目指す子供像とも一致するので、まず教職員がそれを常に意識できるよう、校内の様々な場所に掲示する。また、道徳や行事、部活動などあらゆる機会を利用して、夢や目標を持つことの大切さを教え、よいところを見つけ自己肯定感を高めたい。また、保護者へも発信することで周知に努めたい。

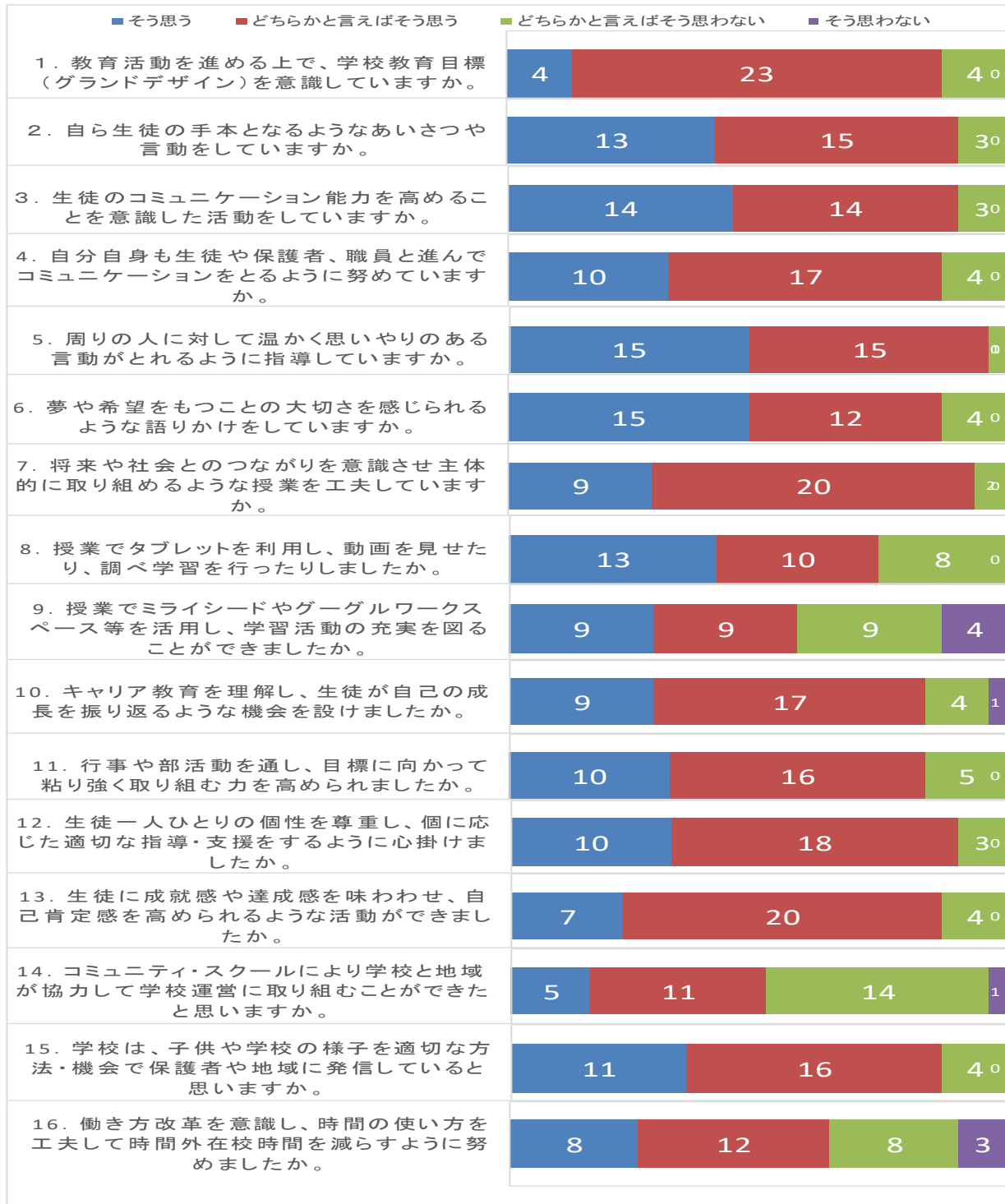
・学校(先生)に相談しづらいと感じる生徒や保護者を〇に近づけるため、日ごろから生徒のよい現れをブログや電話で発信していく。

・特にコミスクについてまだ十分な理解が得られていないので、情報発信に努める。

・SNS等の利用に関しては、毎年異なる講師を招いて注意喚起の講座を開く。

《教職員自己評価より》

○：成果 ●：課題



●昨年度の結果と比べると、全ての項目で「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」を選んだ教員が1～3人増加する残念な結果となった。謙虚な教員が増えた？

●昨年度に続き ICT の活用が低く、大きな課題と言える。

●CS への理解が進んでいない。

《改善策》

・自分に厳しい自己評価をする職員が増えたのかもしれないが、どの項目も自信をもってよい評価がつけられるよう、校内研修を重ねたい。特に ICT の活用に関しては、毎回の校内研修で必ず取り上げ、使わざるを得ない状況をつくり、苦手意識を持つ職員をなくしていく。来年度 ICT の活用 100%になることを目指す。

・CS は、担当教員以外関わりが薄く、何をしているのかさえ知らない教員もいる。来年度は、全教員が一度は運営協議会に参加するように働きかけ、理解と協力を進めたい。